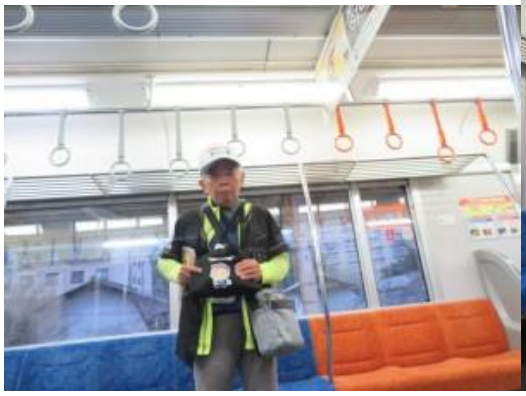
第７章　５日目：3 月 17 日（日）飛騨金山～下呂　曇り

2024 年 3 月 17 日（日）曇り、高山本線の 5 日目の旅は、飛騨金山駅から下呂駅までの 21.6 ㎞に挑戦する。この駅の間に焼石駅があった。今回の旅で、焼石駅から下呂駅までの区間（営業キロ 12.6 ㎞）が最長の区間であった。それ故、歩いても歩いても同じような風景であった。当初は下呂 8 時 17 分発の列車で飛騨金山駅に向かう予定であったが、午後に天気が崩れるとの天気予報から、急遽昨日と同様、下呂駅 6 時 26 分発の列車とする。

※下呂駅



※4 両編成の先頭より 3 号車

※車窓より

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

飛騨金山（6:50）～焼石（10:00）～下呂（14:48）

① 昨日歩いた道筋を思い出し、7 時 7 分、国道 41 号線に合流する。

※飛騨金山駅

※飛騨金山駅近郊

7 時 18 分より、万歩計で 380 歩あるトンネルを通過する。7 時 25 分、中部電力の水力発電所があった。名古屋からの距離は 85.1 ㎞とあった。7 時 31 分より、343m ある下原トンネルを通過する。このトンネルを出ると空が少し明るくなる。8 時、飛騨木曽川国定公園と記した看板前を通過。8 時 8 分現在の温度は 6℃とあった。8 時 10 分、ＪＲ線を跨ぎ鉄道の右側となる。8 時 18 分、”国定公園中山七里釜ヶ渕牙岩〝碑前を通過。近くには牙岩を流れる青い水が強く印象に残った。感動の余り、この場面を何人かの友人にＳＭＳする。その先でＪＲ線下を潜り、鉄道の左側となる。8 時 27 分より、570 歩ある地蔵野洞門脇の歩道を通過する。9 時 45 分より、514 歩ある中桐洞門脇の歩道を通過する。8 時 53 分、下呂温泉 19 ㎞、高山 70 ㎞、富山 157 ㎞と記した標識前を通過す

る。9時、中切水力発電所の界隈の鉄橋を上り特急が通過して行く。名古屋から91.1㎞地点からの水力発電所、鉄橋は強く印象に残る場面であった。

※焼石駅への路

※ダム

ラッキーにも 9 時 13 分、金山町中切でダムの向こう岸ある鉄橋を下り特急が通過する場面をカメラに収めることができた。9 時 28 分、民家が見えて来る。9 時 35 分より、1,045 歩ある三ツ渕洞門脇にある歩道を通過する。この洞門に面して桧の林が続いていた。9 時 42 分、吊り橋と遭遇する。9 時 50 分より、259 歩ある中原大橋を渡る。鉄道に沿って歩いた先に焼石駅（10 時）があった。

※下り特急が通過して行く

※焼石駅への路

※焼石駅

※焼石駅

②10 時 16 分、中原郵便局前を通過。10 時 23 分、旧中原小学校前を通過。10 時 24 分より、140 歩ある橋を渡る。この橋を渡ると瀬戸という標識があった。10 時 28 分、瀬戸バス停（げろバス）前を通過。10 時 27 分、孝子ヶ池飛騨木曽川国定公園前を通過。ここで 10 分位立ち止まり、種々のアングルからデジカメに収める。

※焼石駅郵便局

※橋を渡り国道 41 号線へ。下呂温泉の看板

※孝子ヶ池飛騨木曽川国定公園

11 時、ＪＲ線下を潜り、鉄道の右側となる。11 時 4 分、高山 64 km、富山 151 kmと記した標識前を通過。7℃と温度計は表示していた。この界隈で鉄道下を潜り、ＪＲ線の左側となる。11 時 11 分、神社があり、本日の安全を祈願する。11 時 14 分、名古屋から 97 km地点に到達する。11 時 20 分、高山 63 km、下呂温泉 12 kmと記した標識前を通過する。11 時 26 分より、83 歩ある洞門脇の歩道を歩く。12 時 1 分より、206 歩ある門原洞門脇の歩道を歩く。12 時 6 分、富山 147 km、高山 60 kmと記した標識前を通過。12 時 29 分より、576 歩ある釣鐘洞門脇の歩道を歩く。12 時 40 分、中山浄化園前を通過する。12 時 55 分、飛騨川を渡る。13 時 8 分、ＪＲ線を跨ぎ、やっと鉄道の右側となる。しかし、ここから下呂への道筋は遠かった。

※下呂駅への路

13 時 14 分より、315 歩ある不動橋を渡る。ＪＲ線はすぐ左側にあった。13 時 28 分、民家が見えて来る。13 時 31 分、三原バス停（濃飛バス）前を通過。13 時 35 分より、120 歩ある帯雲橋（飛騨川）を渡る。13 時 40 分、下呂市街 3 km、高山 54 km、富山 142 kmと記した標識前を通過。下呂の街並みが見えて来る。14 時 8 分、82 歩ある湯ヶ峰橋を渡る。この辺りから小雨に遭遇する。14 時 23 分、下呂小学校前を通過。14 時 30 分、出雲大社前を通過。下呂大橋を渡り、下呂駅には 14 時 48 分到着。

下呂駅近し！！

※下呂温泉街が見えて来る

※下呂市内

※下呂駅

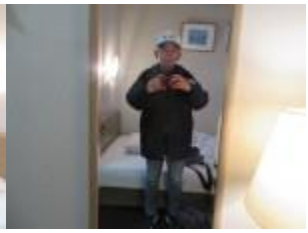
③16 時まで寛ぎ、16 時過ぎ温泉に浸り、休息後、さんとくにお邪魔し、下呂の最後の夜を楽しむ。明日の準備後就寝となる。これで、高山から上麻生までの営業キロ 93.2 ㎞が繋がる。

※色々お世話になりました

※”さんとく”で下呂の最後の夜を締める

第８節　６日目：3 月 18 日（月）：上麻生～鵜沼　晴れ

2024 年 3 月 18 日（月）晴れ、高山本線の旅の 6 日目は、上麻生駅から鵜沼駅までの 25.9 ㎞に挑戦する。本日は 5 日間お世話にになったプランタンをチェックアウトするため、3 時頃起床し準備をする。今日は 6 時過ぎ係りの方がおられた。5 日間お世話になったお礼を言ってこのホテルを後にする。本日は重いリュックを背負っての歩きとなるが、幸い天気に恵まれラッキーであった。移動日に雨具をかけたリュックを背負ってだけは避けたかったからだ。昨日と同様、6 時 26 分発の列車で、2 日にわたり歩いた道筋を鑑賞しながら上麻生駅まで移動する。



※ホテルをチェックアウト

※下呂駅

※上麻生駅

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

上麻生(7:23)～下麻生(8:48)～中川辺(9:53)～古井(こび、11:06)～美濃太田(12:15)～坂祝（さかほぎ、13:56）～鵜沼(15:35)

①上麻生駅に到着するや否や路線バスがやって来る。運転手さんに、「左手に沿った道筋を歩き、国道 41 号線に合流できるか否か」をお伺いする。「行けます」との回答を得る。お礼を言って、早速、下麻生駅を目指す。7 時 31 分、第 3 高山街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。7 時 36 分、国道 41 号線に合流する。左手には一昨日白川口駅への道筋で通過した七宗橋があった。本日は、一昨日とは反対の道筋であった。7 時 43 分、名古屋 50 km、美濃賀茂 16 km と記した標識前を通過。この界隈で昨日まで山また山、川また川の風景とは全く異なっていた。すなわち平野を軸とする風景となった。手前味噌だが、正に、九ヶ条からなる”こだわり鉄道つたい歩き”の第 5 条（先憂後楽の歩き方）を痛感する場面だった。8 時 12 分、七宗町から川辺町となる。8 時 21 分、名古屋 48 km、美濃加茂 13 kmと記した標識前を通過。8 時 42 分、第２高山街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。道なりに歩いた先に下麻生駅（8 時 48 分）があった。

※上麻生駅近郊

※国道 41 号線合流までの道筋

※名古屋から 50 km地点

※下麻生駅への路

※下麻生駅への路

※下麻生駅

②鉄道に沿った農道を歩く。高松一高の木太先輩より、”第 94 回わいわい会（京都の旅）”参加の旨の連絡がある。9 時 22 分、高橋踏切を横切り、鉄道の左側となり、国道 41 号線に合流する。9 時 45 分、名古屋 44 ㎞と記したバイパスがあった。この界隈で右往左往する。運よく、通りかけた方がおり、「中川辺駅への道筋」をお伺いする。「線路に沿った道筋を歩いてください」との回答を得る。お礼を言って別れる。道なりに沿って歩いた先に中川辺駅（9 時 53 分）があった。

※中川辺駅への路

※中川辺駅

③10 時 15 分、右手直ぐに線路がある。10 時 33 分、高速下を潜る。再度、山間を歩く。10 時 37 分、左手に風光明媚な木曽川があった。10 時 55 分、川辺町から美濃加茂市となる。古井駅には 11 時 6 分到着。

※古井駅への道筋

※古井駅

④11 時 16 分、強風となる。11 時 25 分、古井農協前バス停（東鉄バス）前を通過。11 時 34 分、東図書館と道路を挟んで県立加茂高校があった。11 時 43 分、名古屋街道踏切（JR 太多線）を横切る。11 時 50 分、古井神社で本日の安全を祈願する。12 時 3 分、大楽公園に立ち寄る。美濃太田駅には 12 時 15 分到着。駅前には坪内逍遥博士の像があった。観光案内所で鵜沼駅への道筋をお伺いする。「木曽川土手沿いを歩けば行けます」の回答を得る。しかし、坂祝駅への道筋は苦労する。

※美濃太田駅への路

※美濃太田駅、駅前にルートイン

⑤美濃太田駅から少し歩いた先の交差点で右往左往する。ネットや住人の方のお陰で、坂祝駅（さかほぎ）への道筋を歩くことができる。そして、12 時 48 分、やっと国道 207 号（岐阜 30 km、各務原 18 km）に合流できる。13 時 6 分、美濃太田市から坂祝町に入る。13 時 20 分、酒倉交差点を通過。13 時 24 分、トイレットペーパーなどで御馴染みなエリエール前を通過。13 時 27 分、日本プレス（株）前を通過。13 時 33 分、坂祝町役場があった。13 時 56 分、坂祝駅に到着する。丁度、下り列車がやって来る。

※坂祝駅への路

※坂祝駅

※坂祝駅

⑥鉄道に沿った道筋を歩く。猿啄（さるばみ）城跡の案内板がある。前方は山のため、14 時 13 分、国道 207 号線に合流して迂回する。14 時 22 分、岐阜 25 km、各務原 13 kmと記した標識前を通過する。右手には JR 線があった。14 時 38 分、上り特急が通過して行く。14 時 39 分、坂祝町から各務原市となる。暫く、左手に木曽川、右手に JR 線のポジションで歩く。15 時 5 分、岐阜 23 km、大垣 35 kmと記した標識前を通過する。15 時 11 分、JR 線を跨ぎ、鉄道の右側となる。15 時 25 分、山埼街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。名鉄犬山線と合流する鵜沼駅には 15 時 35 分到着。

※鵜沼駅への路

※鵜沼駅への路

※鵜沼駅

⑦15 時 42 分の列車で岐阜駅に向かう。岐阜駅には 16 時 3 分到着。駅前のコンフォートホテル岐阜には 16 時過ぎ到着。ホテルで寛いだ後、”や台ずし”にお邪魔し、英気を養う。ホテルに戻り、マッサージを 60 分お願いする。お陰様でこれまでの疲れを癒してくれた。本日も充実した一日となった。

※岐阜駅に向かう

※コンフォートホテル岐阜

※や台ずしで祝杯！！